

つなぐ

八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和4年9月7日(水)発行 ☎0965-30-1110

◇学校訪問、大変お世話になりました！！

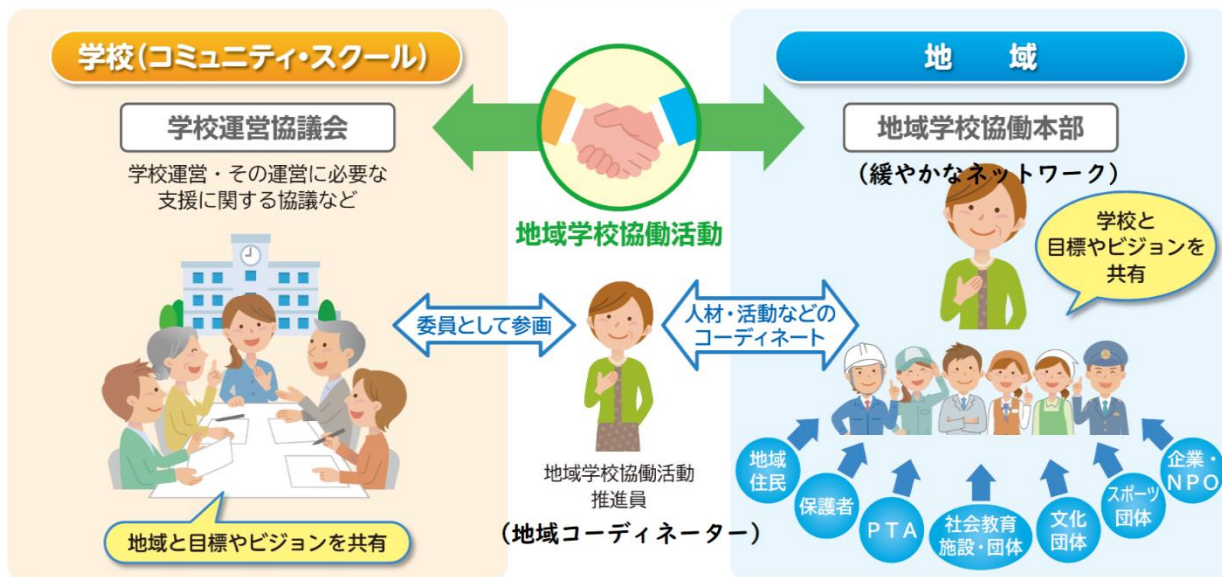
地域学校協働活動とコミュニティ・スクールに関する意見交換のため、すべての学校を訪問させていただきました。お忙しい中、管理職の先生方に対応していただき、有意義な意見交換ができました。大変お世話になりました。

今回の訪問で、「この事業は機能しつつあるのか?」「地域コーディネーターが入って良かったと思っていただいているのか?」「協働本部にどんな支援を期待しているのか?」等質問させていただき、コロナ禍で思うように活動できていない現状、各学校が積み重ねてきた歴史やその地域性の違いにより、それぞれ独自の課題もあることがわかりました。また、それらの課題解決の糸口として、各学校において地域学校協働活動とコミュニティ・スクールが効果的に連携できるように、じっくりと時間をかけて支援していく必要があると感じました。

今後も、八代市地域学校協働本部としては学校と協議しながら、各学校の地域学校協働活動が充実するように精一杯サポートしていきたいと考えております。ご協力をよろしくお願い致します。



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



地域学校協働活動とコミュニティ・スクールは、それぞれが持つ役割を十分に機能させることで両輪としての相乗効果を発揮し、学校づくりや地域づくりを充実や活性化に結び付けることが期待されます。

定義 コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のこと

定義 地域学校協働活動とは、地域と学校が目標を共有して行う「連携・協働」型の活動のこと



◇地域学校協働活動における意見交換会を開催しました！

各小・中・特別支援学校に呼びかけ、8月22日(月)午前10時から、八代市公民館において意見交換会を開催しました。八代市地域学校協働活動の概要について事務局から説明を行い、その後「自校の取組紹介、地域学校協働活動のメリットや課題、教職員の働き方改革への活用方法」をテーマにグループごとの意見交換を行いました。



どのグループも活発に話し合いが進み、アンケートでは前向きな意見や情報共有できたことに感謝の言葉をたくさんいただきました。ありがとうございました。参加者から出された意見や感想を一部紹介します。

- ・様々な取組を知ることができてよかった。地域学校協働活動を利用していくうえでのメソッドがこんなにあるとは知らなかった。全職員がより知ることができるよう啓発したいと思った。知らないからアイデアが出ないというのがあると思った。
- ・他校での活用法などを知り、大変参考になった。協働活動をスムーズに進めるための第一歩は、まず、年度当初に計画を作ることではないのかなと感じた。あと、この活動が続いていくためには、いかに手続きなどを簡単にしていくのかも重要だと感じた。
- ・地域学校協働活動という正直漠然としていた活動について、全体的な概念や具体的な実践などが知れてとても参考になりました。今後、コミュニティ・スクールとも関連して有効な教育活動にできるように進めていくことが課題になってくると感じています。

地域人材の活用！不登校支援「子供の言葉に耳を傾けてくれる大人の存在」

地域学校協働活動は、学校のニーズに地域の人材をマッチさせる取組です。
不登校・別室登校対応は、学校のニーズでも高い位置にあります。

そこで、八代市地域学校協働本部では令和2年度から地域人材を活用して不登校問題に対して支援していくことを強化事業として位置付け、取組を模索してきました。

不登校の子供や親が不安を感じているとき、自分の言葉に耳を傾けてくれる人がいるだけで、心が安定したり、前向きな気持ちになれたりするものです。そこで、次の2点を本事業でのコンセプトとしました。



- (1)子供にとって「話を聞いてくれる大人を増やす」ことで外への安心感を得られる。
- (2)親や先生でない大人から褒められたり認められたりする機会をつくり、心の安定を図る。

令和3年度の取組は次の通りです。別室登校の児童生徒への支援に地域人材を活用された学校は、三つの小学校と六つの中学校となっています。

- (1)地域未来塾の活用（別室登校者への学習支援も含む）

- ・校区に住む退職教員が支援【中学校3校】

- (2)地域人材を活用した居場所づくり

- ・地域の退職教員の活用【中学校2校】
- ・主任児童委員の活用【小学校2校、中学校1校】
- ・地域における居場所作り：学校とは違う場所で中高生と一緒に勉強したり遊んだりすることで、心の安定を図る取組【小学校1校】（宮島財団の1室を利用）



- (3)不登校に関する理解者を増やす

- ・地域コーディネーター、教職員、主任児童委員、婦人会等を対象とした「不登校児童生徒への対応に関する講座」の開催

令和4年度は地域人材の活用を拡充するとともに、不登校の児童生徒の保護者を支える地域人材の育成や、理解者を増やしていきたいと考えています。